

平成30年7月23日  
農業技術センター技術普及部

<b>標 題</b>	西条柿ジョイント栽培研究会を立ち上げ 3年後の技術確立を目指して！！
------------	---------------------------------------

**(ダイジェスト)**

西条柿におけるジョイント栽培技術の確立を目的に、7月13日（金）に第1回の西条柿ジョイント栽培技術研究会を開催した。生産者の知識・技術習得と会員相互の情報交換・意見交換を通じ、3年を目途に技術を確立する。

ジョイント栽培は全国的に各樹種で現地導入されており、カキでは福岡県農林業総合試験場が‘太秋’という品種で技術確立し、栽培マニュアルを作成されています。

本県の主力品種である西条柿でも、5年前に現地導入が始まり、現在、県内3産地、生産者12名、面積84aでジョイント栽培が行われています。

しかし、西条柿での試験成績がないため、現地で実証ほを設置し、生産者、JA担当者、普及員が検討を重ねながら試行錯誤の中取り組んでおり、技術確立するにはまだ多くの課題があります。このような中、上記目的のため、7月13日（金）に第1回西条柿ジョイント栽培技術研究会を開催しました。

研究会は、県内で西条柿のジョイント栽培を行っている生産者、JA担当者、普及員、研究員、農林大学校、県庁担当者をメンバーとしており、この日は、総勢で29名の参加がありました。はじめに、現地検討として、平田柿部会のジョイント栽培実施生産者の各ほ場で生育状況および今後の管理について意見交換を行い、その後、室内検討では、研究会設立目的、ジョイント栽培の課題と方向性、今年度の活動計画について協議を行い、その後意見交換を行いました。

今後、技術普及部としては、研究会事務局として年4回の研究会の開催、各産地の地域普及部と一緒に現地調査の実施を通して課題解決の検討を行い、3年を目途に技術確立を図っていくことにしています。

